

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-20号)

令和元年10月4日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年10月1日に伊勢湾、10月1、2、3日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

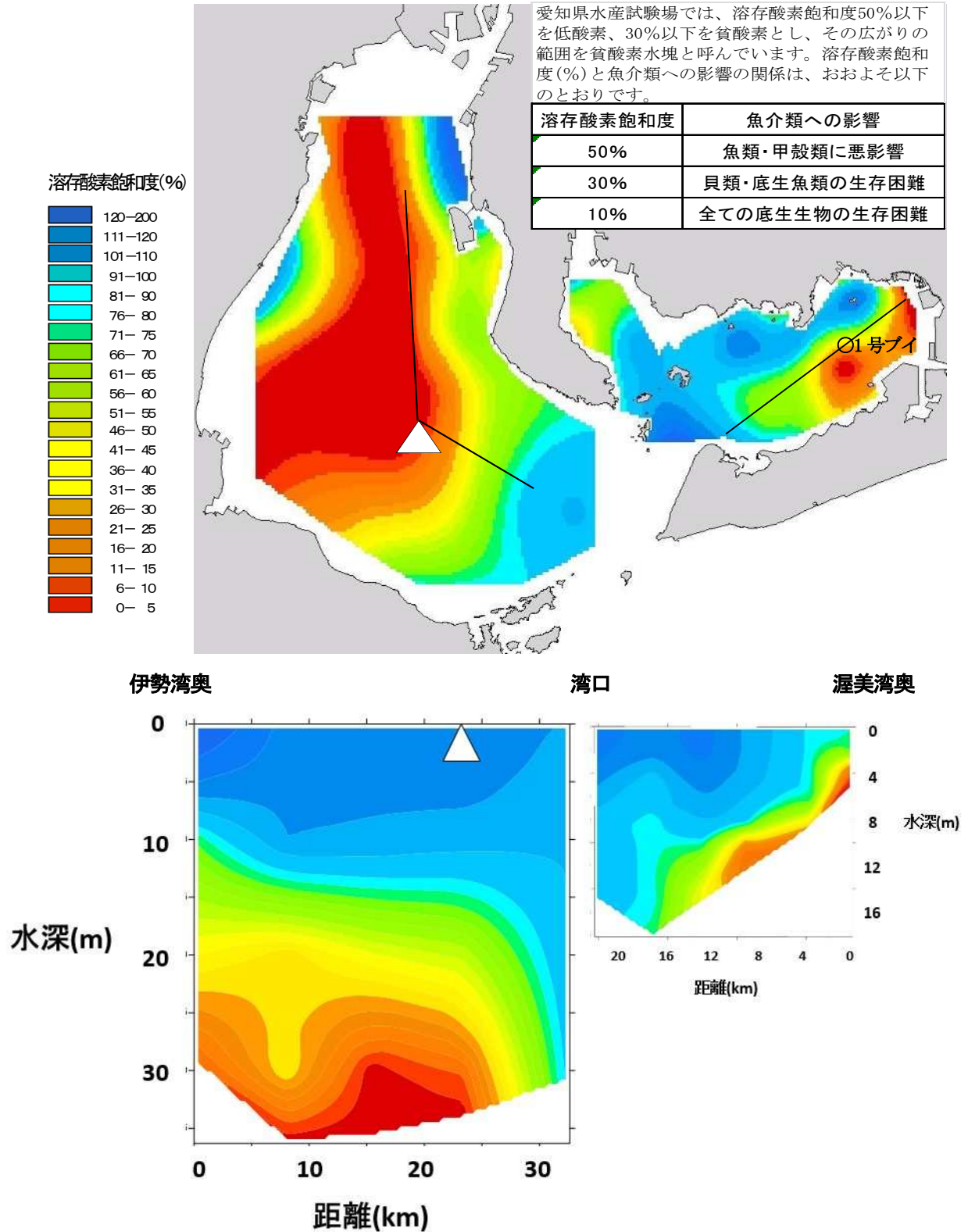


図1 伊勢湾(10月1日)・三河湾(10月1、2、3日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(三重県「あさま」、愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

10月1日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾の中央部から西部で貧酸素水塊が確認されました。今後は、表層の水温が下がり、海水の上下混合が起りやすい時期となるため、貧酸素水塊は徐々に縮小していくものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

| | 水温(°C) | 塩分 |
|----|-----------|-----------|
| 表層 | 25.5~27.0 | 26.4~31.8 |
| 底層 | 22.2~25.8 | 29.5~33.5 |

三河湾

10月1、2、3日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の南東部で貧酸素水塊が確認されました。10月2日から3日にかけて、南から東の2.0~10.5m/sの風が連続的に吹き、貧酸素水塊が渥美湾の南東部に寄せられたものと考えられました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、9月24日から10月3日にかけて貧酸素水塊が発達と解消と繰り返している様子が観測されました。

今後は、表層の水温が下がり、海水の上下混合が起りやすい時期となるため、貧酸素水塊は徐々に縮小していくものと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

| | 水温(°C) | 塩分 |
|----|-----------|-----------|
| 表層 | 25.1~26.7 | 29.6~31.5 |
| 底層 | 24.9~25.7 | 30.4~32.0 |

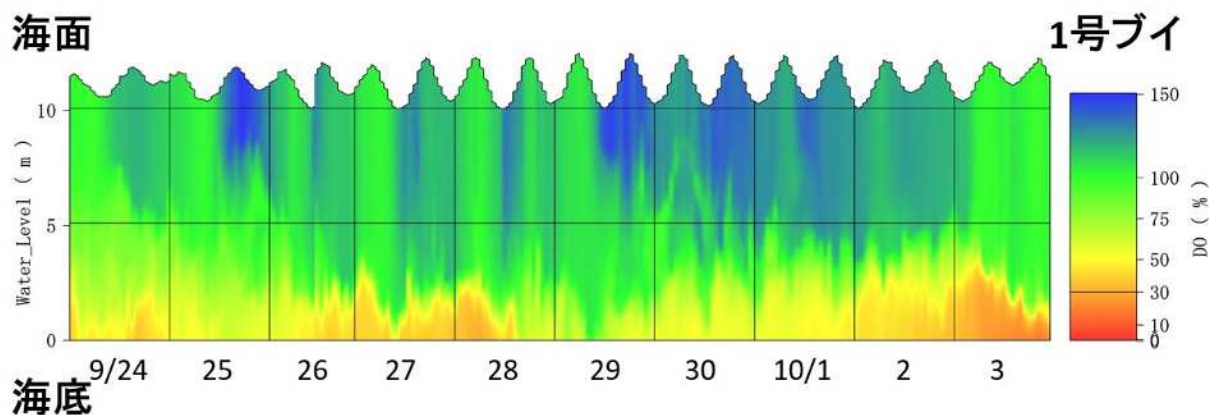


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況 (図3)

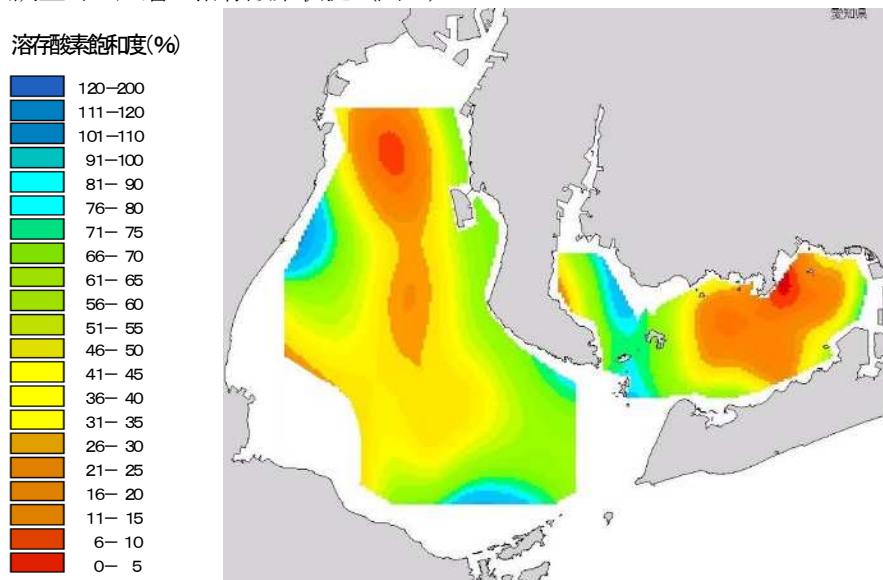


図3 令和元年9月24、25日 (伊勢湾)、9月17日 (三河湾)